

国際特許
出願中

自分史作成支援を通じた 高齢者の見守り事業

高齢者に「生きがい」と「安心感」を感じてもらえるようにしたい！
…という思いから生まれた事業です。



「生きがい」とは？



「自身が生きた証をこの世に遺す」「自身の名前を永遠に残す」という生きがいです。自分史を作成することで、あなたという人間がこの世に生きたことを、文献として遺すことができます。この自分史を出版して国会図書館に納本すれば、国会図書館の蔵書検索サイトの中で、あなたの名前は永遠に生き続けることができます。



なるほど！ 出版するからには、「**人生の集大成としての自分史**」を、それこそ生涯をかけて作成したいものです。でも、執筆途中で死んでしまったら…努力は水の泡になってしまうのでは！



大丈夫です！

弊社は「**作品の適時提供システム**」を採用しておりますので、あなたに万一のことがあった場合、その時点で完成している部分が、あなたの自分史として出版されます。安心して、自分史作成に没頭して下さい。



自分史作成に没頭できる「**作品の適時提供システム**」とは、どのようなものですか？



「自分史が一応完成した！」と思った時点で、作品を弊社システムに寄託していただきます。お亡くなりになった場合、寄託されている作品を、事前に交わされた契約内容にそって書籍化します。つまり、ご自身が納得された状態の書籍を出版することができるのです。

寄託された作品はいつでも、バージョンアップできますので、生涯かけて完成度の高い作品に仕上げることが可能です。

「**研究生生活の集大成としての論文を、生涯をかけて完成させたい！**」という老研究者のニーズから生れたのが、この「**作品の適時提供システム**」なのです。



私どもの「自分史作成支援を通じた高齢者の見守り事業」も、この「**作品の適時提供システム**」を採用しております（国際特許出願済み）。

私どもは、自分史作成を手伝うために定期的に高齢者を訪問（又は電話）します。そして、高齢者のお話に耳を傾け、そのお話の中から、自分史の材料になるものを見つけ出します。それを記録することで、その方の自分史帳を作成します。

この「**自分史帳を書籍化したい**」という希望があれば、印刷・製本して、ご本人（又はご家族）に進呈します。

自費出版される方には、ご希望に応じた出版社を紹介します。

「入所希望者との間でこのような会話をもちたい」とお考えの介護事業者様、
「このような趣旨の自分史作成支援サイト{TM}」に広告を掲載しようとお考えの出版業者様、
株式会社IPフォークロアまでご一報下さい。

